

学校評価報告

教員・生徒・保護者を対象に実施したアンケートの最終報告です。内容は『学校経営・運営ビジョン』にある重点事項1～3中にある項目1～16について、共通の質問をし、努力目標の取り組みに対する三者の意識を比較検討できるように工夫しました。これらのアンケート結果を分析し、改善を加えて今後の取り組みに活かしていきます。アンケートの結果と、考察の一部を紹介いたします。なお、グラフは左からA、B、C、Dの割合を表します。

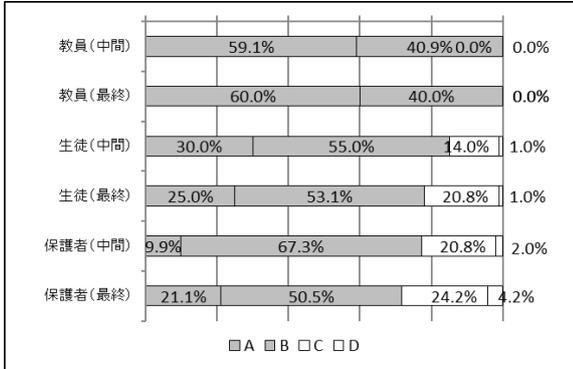
重点事項

- 1 確かな学力の育成
- 2 進路指導の充実
- 3 豊かな人間性の醸成

評価基準

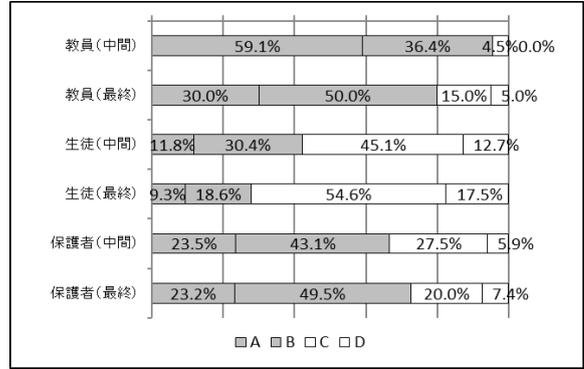
- A よくあてはまる B 大体あてはまる
C あまりあてはまらない D 全くあてはまらない

重点1. 確かな学力の育成



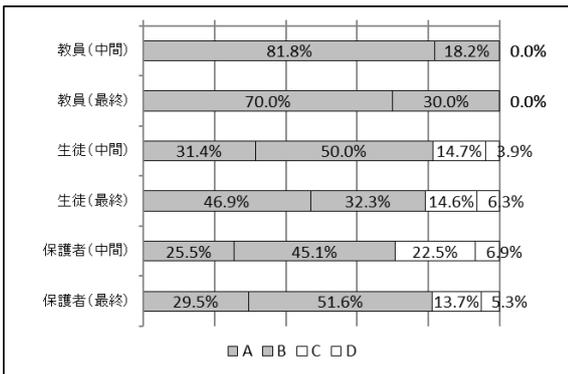
2 生徒が「わかる・できる」と実感できる授業の実践

質問1～3に関しては教員・生徒ともに高い評価（質問2以外は80%以上）になっており、生徒が興味・関心を持って授業に取り組んでいるのではないかと考えられます。ただし、上記質問2に関しては生徒の最終評価は約78%であり、保護者の最終評価が70%を超えただけとなり、認識のギャップがあると思われまます。質問4の資格取得に関しては厳しい評価となっています。資格取得に意欲を持って取り組んでいる生徒を確実に合格させ、努力することが結果につながることを身近に感じてくれば、合格者の増加につながるのではないかと考えています。

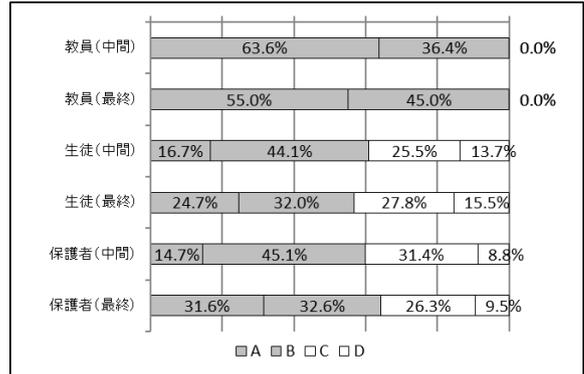


4 各種検定・資格取得に向けた個別指導の充実

重点2. 進路指導の充実



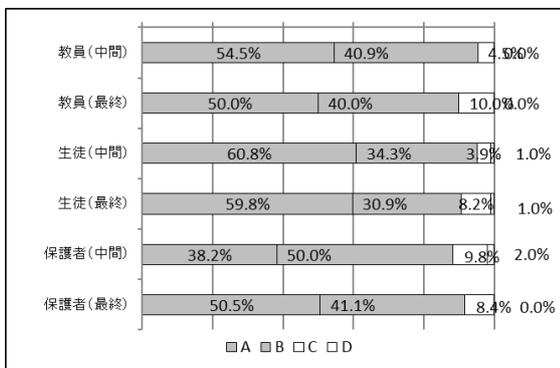
6 進路ガイダンスや職場体験学習の充実



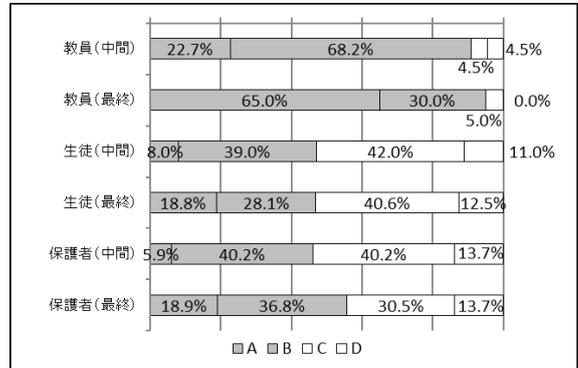
8 進路情報の適時な提供と面接・相談の計画的実施

進路ガイダンスや職場体験学習など、外部と共に実施する内容に関しては、評価は高くなりましたが、学校内で行っている内容に関しては、生徒・保護者ともに評価は高くない状況となっております。上記以外の質問項目に関しても、進路に関しての質問事項は、教員の評価は全般的に高くなりましたが、生徒・保護者の評価は内容が地味なためか可もなく不可もないような評価となりました。準備に時間を費やした教員とその内容の提供を受けた生徒では評価の観点が異なっているのではないかと考えられます。観点の違いの原因を確かめ次年度に反映させようと考えています。

重点3. 豊かな人間性の醸成



11 いじめ防止対策の充実と心の教育の推進



16 地域に貢献する活動の開拓

質問11のいじめ防止対策、ここに記載はありませんが質問12の安全教育及び情報モラルに関する最終評価は、教員・生徒・保護者の3者とも90%を超える評価となりました。次年度もこのような評価になるように取り組みたいと考えております。

質問16の地域貢献に関しては評価が低く、今後の課題となります。ただ、本校ではすべての学年で美化活動をしており、こちらも十分な地域貢献と考えていますが、生徒の中には美化活動は地域貢献とは別個のものとして考えている生徒もおり、その分評価が低くなったと考えられます。また、9月のねぶた祭りは本校が地域に貢献できる最大のものです。こちら祭りとしてのみ捉えており地域貢献の一環と考えていないのではないかと考えられます。次年度はねぶた祭りも地域社会への貢献の一つであることを強調して取り組んでいこうと考えております。